



会場を盛り上げた劇団ドリーム☆キッズのはつらつとした歌と踊り

照英さんイクメン語る 男女共同参画フォーラム



「パパも楽しむすくすく子育て」と題し子育ての楽しさを語る照英さん(右)。隣は聞き手の登米コミュニティエフエムの白鳥幸子さん。左は手話通訳をする菅野千恵さん

市では「男女共同参画フォーラム」人権を考える講演会を11月28日に開催。会場の登米祝祭劇場には約300人の市民が集まりました。トークショーのゲストはタレントで2人の子どもの父親でもある照英さんです。自身の子育て論を熱く語った照英さんは「親に一番必要なのは、子ども

のベースに合わせてあげるのと。よその子と絶対に比較してはいけない」と述べ、「子育てには笑顔と自信が大切。大いに楽しみましょう」と強調しました。トークショーに先立ち、市内の子ども劇団「ドリーム☆キッズ」が元気な歌と踊りで会場を盛り上げました。

30年の地道な活動評価

米川小みどりの少年団優良賞



米川小みどりの少年団が毎年実施している植樹作業。こうした長年の取り組みが評価されました

米川小学校の5・6年生で組織する米川小みどりの少年団が、平成25年度緑の少年団活動発表大会(国土緑化推進機構など主催)で優良賞を受賞しました。昭和59年4月に結成し、今年30周年を迎えた米川小みどりの少年団。今回の受賞は、結成当時から市(町)や県、地

元の米川生産森林組合の協力を得て、森林保全活動や遊歩道の整備、動植物の愛護活動などを地道に続けてきたことが評価されたものです。今年度の活動発表大会では、奨励賞に全国10団体、優良賞に米川小みどりの少年団など14団体が選ばれました。県内からの受賞は同団だけです。

平成25年度(第52回)農林水産祭で、米山町の農業生産法人、(南)おとちグリーンステーション(柳渚淳一代表取締役)が、内閣総理大臣賞を受賞しました。

おとちちグリーンステーションは約30ヘクタールの大豆と水稲のブロックローテーションを実施。今回の受賞は、大豆栽培の技術向上や経営改善、消費拡大への取り組みが高く評価されたものです。11月23日に明治神宮会館で開かれた表彰式に出席した柳渚代表は「今回の総理大臣賞受賞は従業員みんなの励みになる。これからも手を掛けて良い農産物を生産していきたい」と力強く述べました。



11月26日に布施孝尚市長(右)に受賞報告に訪れ賞状と盾と披露した、おとちちグリーンステーションの柳渚淳一(中央)と芳村忠市さん

おとちちグリーンステーション 大豆栽培で総理大臣賞

市制10周年に市民歌を

市民など5人を委員に委嘱

市では、平成27年度に市制施行10周年を迎えることから、さらなる市民の一体感醸成につなげるため「市民歌」を制定します。制定に当たっては、識見者や市民などによる「市民歌制定委員会」を設置し、歌詞や曲の選定作業などを進めます。委員は5人で、宮城学院女

子大学音楽科教授の小山和彦さん(仙台市)、市内の女声合唱団「ハーモニ」なでしこ指揮者の巨理撫子さん(東和町)、市文化協会理事長の鈴木敬一さん(米山町)、沼高校教諭の大畑典子さん(中田町)、登米コミュニティエフエム局長の斉藤恵一さん(中田町)です。



11月1日に開かれた第1回制定委員会では布施市長から各委員に委嘱状が交付されました。委員長には宮城学院女子大学の小山教授が選任されました

30秒で登米の魅力PR

CM大賞放送は1月3日

県内市町村のCM作品を紹介する「2013みやぎふるさとCM大賞(東日本放送主催)」の発表審査会が12月4日に仙台市青年文化センターで開催され、本市の作品が優秀賞(銅賞)に選ばれました。みやぎふるさとCM大賞は今年で12回目となります。今回は県内30市町と県から過去

最多となる42作品が応募。本市からは3団体が制作した作品を出品しました。審査の結果、市観光物産協会の作品が全体の4位に当たる銅賞を2年連続で受賞、年間40回の放映権を得ました。発表審査会の模様は、1月3日の午後4時から東日本放送で放映される予定です。